



2022年2月9日

各 位

会 社 名 株式会社ヴィア・ホールディングス
 代 表 者 名 代表取締役社長 楠元 健一郎
 (コード 7918、東証第一部)
 問い合わせ先 執行役員コーポレート企画室長 田口 雅規
 電 話 番 号 03-5155-6801

2022年3月期 連結業績予想に関するお知らせ

2021年11月10日に公表した2022年3月期第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)において、未定としておりました2022年3月期の通期業績予想について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2022年3月期 通期連結業績予想
 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回修正予想(B)	10,200	△1,350	△1,100	400	11.96
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	12,168	△2,631	△2,543	△5,606	△175.64

2. 公表の理由及び業績予想の具体的な背景

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、業績予想の合理的な算定が困難であったことから、2022年3月期の業績予想を未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報等に基づいて業績予想を算定しましたので公表いたします。

2021年4月から10月に断続的に発出された緊急事態宣言やまん延防止等重点措置による休業対応または時短営業対応といった営業制限に加え、特に都心部でのオフィスワーカーの減少、宴会需要の減少等により、主力の居酒屋業態において大きな打撃を受けており、また、前期末から今期にかけて収益構造改革の一環で大規模な赤字店舗の閉店を実施したことも大きく影響し、売上高は10,200百万円(前年同期比△16.2%)に留まる見通しであり、営業損失は1,350百万円、経常損失は1,100百万円まで落ち込む見通しです。しかしながら、前期より継続している収益構造改革の成果が顕在化し始めていることに加え、今期第3四半期までの時短協力金や固定資産売却等の特別利益の実績があるため、今期第3四半期までの特別損失や第4四半期に見込まれる減損会計の適用等による損失を考慮しても、親会社株主に帰属する当期純利益は400百万円まで回復する見通しです。

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上